

まんがの脚本案

登場人物： ゆい（アラサー元商社 OL）
わっきーさん（26歳年収3億円起業家）

1 ページ目

「今月も1秒も働いてないけど、月収1000万円切らないです」

彼はそう言った。

（Nさん顔をぼかして言わせる。
ゆいの「はあ？」って顔。ぽかーんした表情）

この一言で、私の人生は変わった。

「こんにちは、ゆいです。
私は今、フリーでマーケティングの仕事をしています。

2 ページ目

目覚まし時計のいない生活。
昼間には電車に乗るけど、朝と夜はタクシー移動。

起業家仲間とカフェで作業したり
平日の昼間に、思い立ってふらりと旅行に行ったり

好きな場所で、好きな人と、好きな仕事をする。

そんな自由でストレスフリーな生活をしています。

ブログでの収益化にも挑戦していて、
ブログを開始して10ヶ月で月収100万円を達成しました。」

「私は今、26歳年収3億円の起業家の元でビジネスを学んでいます。

ゆくゆくは師匠のような起業家になりたい。
明確な目標ができ、毎日が刺激的で本当に楽しいです。」

「だけど師匠に出会う前は、今とは180度違う人生を歩んでいました。」

[3ページ目](#)

～1年前～

師匠と出会う前、私は都内の某大手企業で働くOLでした。
年収は1500万円。

毎日満員電車で会社に通い、
日付が変わる頃まで仕事をする。

1日のほとんどの時間を会社で過ごし
お金はあるけど使う時間がない。

「会社員の生活は、思っていたよりもずっと過酷なものでした。」

@通勤時の満員電車

まず、毎朝の満員電車。

「これどう考えても乗れないでしょ」という電車に乗るところから私の1日は始まる。

ホームに入ってくる電車を見て、「まじかー」と思うけど遅刻するわけにもいかないし、他に選択肢がないから仕方がない。

電車の中に右足を突っ込んで、身体を支えるわずかなスペースを探し電車のドアの上部に手をかけて、無理矢理身体をねじ込む。

中のおじさんをグググッと背中で押し込んで、なんとか電車の中に身体をすべりこませる。

[4ページ目](#)

子どもの頃よりずっとガチのおしくらまんじゅうだ。

ドンッと押されて倒れそうになると壁についた片手でギリギリ身体を支え、腰が反った状態で片足で踏ん張りまくる。まるで腕立て伏せだ。

ふと電車の窓に映った疲れ切った自分の顔を見て愕然とする。

「私は20年後もこれをやってるんだろうか…」 (←オバさんの顔)

ここでは私のプライベートなんて
まるで存在しないかのようだ。

@会社のオフィス 20時過ぎ

残業を終えて帰ろうとする私に
平気で追加の仕事を頼んでくる上司。

上司 「あ、ゆいさん。悪いけどこれ、明日の朝までにお願いできる？」
部長が明日の午前中の打合せまでに、調べておいて欲しいと言っ
てたから」

ゆい 「・・・・・・わかりました。」

(今もう20時ですけど！なんで今このタイミングで言うんだよ！怒)

5ページ目

(今日もまたお風呂に入って寝るだけか・・・・)

「私、一体何のために生きてるんだろう？」

最初は憧れていた大手企業での仕事でしたが
やってみると想像以上にしんどかった。

毎日毎日、家と会社の往復だけ。
奴隷だなと思ったけど、毎日必死で働きました。

だってやめたら、もう収入ないから。
だけど、この生活をあと何十年も続けるのか…。
と考えると、希望のない未来に絶望しかなくて。

会社で働き続けることの限界を感じ、
勢いだけでなんと会社を辞めることにしました。

「自分でやりたいことがある」と会社には言ったけど、
正直もう限界でした。

1分でも1秒でも早くこの生活から抜け出したかった。

そんな行き当たりばったりの行動をした私に
人生を変える出会いが訪れます。

それが、今のビジネスの師匠との出会いでした。

[6ページ目](#)

1年前の夏

最終入社日@六本木会員制居酒屋

フリーランスの友人に

(今度経営者飲みがあるからゆいも来なよ！)

フリーランス第1日目でしょ！)

と誘ってもらった飲み会での出来事でした。

指定された六本木の会員制居酒屋に向かうと
20代の起業家が7名集まっていました。

幹事「では、改めまして、乾杯ー！」

この飲み会で、
たまたま隣の席に座っていたのが師匠でした。

ゆい「Nさんはどんなお仕事をされてるんですか？」

何気なく質問してみたら、返ってきた答えが意味不明だった。

7ページ目

20歳で起業して25歳で年収3億円。今は会社を4社経営。

自分が働かなくても会社が回る仕組みを作っているので、
寝ていても自動で収益が生まれ続ける。

ウェブを活用して企業の売上を伸ばすことが得意。

化粧品、ホテル、旅館、飲食店など、100社以上の企業をコンサルして売上を何倍にも伸ばしてきた。

自分自身でも、塾、エステ、人材、ウェブの4社を経営。エンジェル投資家としても活動。複数の会社の株主をしていて、最近は海外で都市開発も行っている。

8ページ目

Nさん「働かなくてもお金は増え続けるし、やることもなくて暇だから一度セミリタイヤして遊んでたんですけど、しばらくすると飽きてしまって。

仕事した方が人にも喜んでもらえるし、今は仕事が趣味みたいな感じです。」

ゆい 「……」

はい???

ゆい 「は、働いてないんですか…?」

Nさん 「今月も1秒も働いてないけど、月収1000万円切らないです」

ゆい 「……」 ガーン…

いやいやいや、なんだって??1秒も働かずに1000万……??
まったく意味がわからない。この人一体ナニイッテンダ。

9ページ目

でも、淡々と話しているけど、とても25歳とは思えない貫禄。

会話の端々から、圧倒的な知識量を感じずにはられない。

ゆい 「働かずに収益が増え続けるって、そんなことできるんですか？」

Nさん 「ネットビジネスならできますよ。
自分が働かなくても、ネット上の仕組みが働いてますから。」

ゆい 「仕組み、ですか…？」（仕組みって何？何かのシステム…？）

Nさん 「インターネット上に、自分が働かなくても
お客さんに価値提供ができる仕組みを作るんです。

ブログとか、youtubeとか、メルマガを使って。

ビジネスの本質は、お客さんに価値を提供することなので
価値提供さえできる状態を作れば、
自分が働いているかどうかは関係なく、
収益が生まれるってことです。」

ゆい 「なる・・・ほど・・・」

師匠との出会いで

私の今までの価値観は、見事に崩壊した。

9ページ目

「お金に制限されない自由な人生」が欲しくて大手企業を目指したけど、なんか根本的に方向性を間違っていたような・・・

(馬車馬のように働きまくった私の9年間、一体何だったんだ…)

Nさんの仕事の話は、聞けば聞くほど面白くて引き込まれた。

(でも、ネットビジネスかあ・・・)

めちゃくちゃ興味は惹かれたけど
ネットビジネスってなんか怪しいし胡散臭い。

このときは、自分がネットビジネスをやるなんて
正直夢にも思っていませんでした。

「独立する」って会社辞めちゃったから
とにかく何かビジネスアイデアを見つけなきゃ、って焦ってたし

ビジネスのアイデアを求めて海外旅行行ったり
プログラミングスクール行ったり
ベンチャーキャピタルの起業家養成プログラムに入ってみたり…

でも、結局何が自分の理想の生き方につながるのかわからなくて、会社を辞めた後も半年間、見事に迷走しまくっていた。

そんなとき、

私はちょっとした用事がきっかけでNさんと再会することになった。

@立食パーティー（共通の知り合いの立食パーティー的な設定が自然？）

10ページ目

Nさん 「起業に資金調達も、人生賭けるような覚悟も必要ないですよ。

実業がやりたいなら、
まずはネットビジネスで利益が出る仕組みを作って、
それを元手にやればいいんじゃないですか？

起業なんて全然難しくない。
正しい知識があれば誰でも成功できますよ。」

ゆい 「確かに、ネットビジネスで初期費用を稼げば
資金調達はしなくて済みますね。
起業って知識の問題なんですか？」

Nさん 「知識ですね。正しいやり方を知ってるかどうかの違いです。

社長がやるべき仕事は3つしかない。
マーケティングと、仕組み作りと、社員に給料を払うこと。
それ以外はやるべきじゃない。」

ゆい 「なるほど・・・」

Nさんは、ネットビジネスの可能性についていろいろ教えてくれた。

ネットビジネスの知識があれば
仕組みを作って不労所得を作ることもできる。

今インターネットを使わずにビジネスができる業界はほとんどないから
知識を応用して、企業のコンサルティングをしたり

良い商品はあるのに売れない企業のサポートをして
売上を何倍にも上げることができる。

知る人ぞ知る良いものを、世の中に広めることもできる。

[11ページ目](#)

「面白そう・・・」

(私の理想の人生を実現できるのは、ネットビジネスかもしれない)

それから私はNさんのブログを読み漁り
Nさんに頼み込んでビジネスを学ぶことになった。

私の勘は正しかった。

会社員としての未来に閉塞感しか持てず、
絶望していた私に、Nさんは希望の光を見せてくれた。

Nさんの仕事のスピード感は半端なかった。

携帯でどんどん指示を出しながら、あっという間にビジネスが進んでいる。でも、パソコンさえあれば仕事ができるから、フラッと数週間海外に視察に出かけたりしている。意味不明すぎた。

30年以上生きてきて、
大手企業でいろんな優秀な人を見てきたけど

誰かの知識量や思考力のすごさに
鳥肌が立つ経験をしたのは初めてだった。

ビジネス仲間との合宿のとき@旅館の和室

12ページ目

Nさんが今後立ち上げようとしてるビジネスの話聞いた。
どんなふうにゼロからビジネスを組み立てていくのか。
起業家の思考プロセスを初めて見た。

Nさん 「まず、この業界の今の市場ってこういう状況なのね。

だから、こういうコンセプトのメディアを最初に作って
こういう発信をすればめちゃくちゃ喜ばれるし

結果的にファンも大量に増える。
そこからさらに…」

参加者一同 「・・・」

しーん…

一つのビジネスが、
目の前で鮮やかに組み立てられていくのは圧巻だった。
師匠の思考力・発想力のものすごさを目の当たりにした。

参加者Aさん 「やばい…」

参加者Bさん 「これ神回だな」

盛り上がって朝5時くらいまで話してた。
でも、楽しすぎて、刺激的すぎてアドレナリンが出すぎて、
私は結局一睡もできなかった。

[13ページ目](#)

ゆい 「やばい。ビジネス面白すぎる・・・」

Nさんは徹底して本質思考の人だ。

すぐに無駄なことをしてしまう私に

本質的な問題点をバシバシ指摘してくれる。

起業家としての頭脳と人としての温かさを兼ね備えているところが大きな魅力だと思っている。

徹底的にお客さんのことを考えている。

そして、今の自分に満足せず、
さらなる成長のために投資をして学びまくっている。

こんなすごい人がどんどん進化していく様子を見ると
自分も頑張らなきゃと思います。

師匠にビジネスを学んでから、
毎日が刺激的で面白すぎて、

今は少しでも師匠のような起業家に近づけるよう
勉強勉強の日々です。

これからもガンガン学んで、進化していきたいと思います。

おわり。